

目次

安東幹さんとともに、コロナ危機と戦おう！

東京・神奈川・埼玉・千葉の

日本共産党組織の委員長

日本共産党中央機関紙「赤旗日刊紙」は、だれが配達しているのでしょうか？

日本は、国際空港（成田空港、羽田空港国際線ターミナルなど）・航空国際線の維持に力を入れるべき

日本共産党に配達証明付き内容証明郵便を送付しました。

やまと新聞を読もう！

日本の進む道研究所は、連絡先を変更しました。

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-2-14

有山ビル 501 日本の進む道研究所

よろしくお願ひします。

パソコン不調で発行遅れて

申し訳ありません。

日本の進む道研究所会報

代表の安東幹（あんどうかん）氏と主要著作『日本共産党に強制収容所』日本共産党と関係が深い医療機関の集団である民医連（全日本民主医療機関連合会）の精神科・神経科などのメンタルセクションが、日本共産党の強制収容所の役割を果たしている。有名なのは、代々木病院精神科・神経科である。日本共産党を批判する人で、日本共産党関係者など、日本共産党の指示に従えない人が、むりや

代表 安東 幹 について

東京都立西高校卒業

慶應義塾大学通信課程法学部乙類（政治学科）卒業
シティ大学大学院行政学修士在学中（現在学習中断中）

日本共産党と関係が深い労働争議団の批判、慶應義塾大学を共産主義者から守る活動、東京都の教育委員会の傍聴をしながらの教育への提言などに、現在、集中的に取り組んでいます。

著作

『日本共産党に強制収容所』

『誰も書かなかった中国の人権抑圧』

『「連合」をぶっ潰せ』

電子書籍

『日本共産党の構造と実体』

論文

「私たちが体験した共産党の強制収容所列島（兵本達吉氏との対談）」『正論』平成12年4月号「雑誌『正

令和3年
9月1日
(2021年)
第43号

発行所

日本の進む道研究所

〒105-0013

東京都港区浜松町

2-2-15

浜松町ダイヤビル 2F

電話

03-6775-8400



日本共産党に強制収容所

僕が体験した共産主義という
安東幹の支配

かつて旧ソ連にもあった「強制収容所」は日本にもあった。僕は笑のあり方に疑問をもつ日本共産党員だった。ある日突然、精神病院で診察と治療を強制された。それは監視と任務という意味がなまじり体験だった。本書はその体験に端を発した共産主義の研究書である。

安東幹さんとともに、

コロナ危機と戦お

う！

人類のコロナウイルスとの戦いが続いている。戦いが長期におよび、明るい未来がいつ来るのかと不安を感じる人も出てきた。

しかし、安東幹と、日本の進む道研究所の仲間、コロナウイルスと全力で戦い続けます。決して、負けません。安東幹と、日本の進む道研究所は、人類の希望となつて、がんばり続けます。安東幹さんは、人類の救世主になるべくがんばります。安東幹さんとともに、コロナウイルスと戦おう！君も救世主になれる！

安東幹さんは、コロナ危機が始まった時、コロナウイルスの治療薬とワクチンの開発に全力を尽くすべき、治療薬とワクチンが開発されなければ、コロナ危機は解決しないと訴えました。コロナ危機は、長期に及び、人類の戦い長期化する中、日本の進む道研

究所の代表、安東幹さんの主張の正しさが証明されました。

今、人類は、コロナウイルスの治療薬とワクチン開発に、資金を投入して、コロナ危機の解決に全力を尽くすべきです。そして、それは、一部の政治家や医療関係者だけが取り組むべき課題ではなく、世界中のみんなが取り組むべき課題です。誰にでも、できることがあります。

量子コンピュータの開発に全力を尽くすべきです。量子コンピュータは、既存のコンピュータの性能をはるかに上回る高性能のコンピュータです。みんなで「コ」を学ぼう、日本人全員で「コ」、プログラムを学ぼう、人類全員で、「パソコン、IT、プログラミングを学ぼう、そのような世の中にみんなを変えていくことが大切です。

「フレ！フレ！IT戦士！」「がんばって、人類のために、IT能力でコロナ治療薬とワクチンを開発して。信じてる、あなたならきっとできる。」「応援することには誰にもできる。みんな、ITを学ぶ人、ITが得意な人を応援しよう。

安東幹さんは、ITを学び続けます。「コ」を学ぶのに若い必要はありません。いくら年を取っても、やる気さえあれば、超一流のパソコン・プログラマーになれます。いい教材もありますし、すばらしい学び方も開発されています。必ず、人類がコロナ危機を乗り越えるために、治療薬とワクチンを開発するのに貢献します。みんなも頑張ろう！

パソコンできない人も、キータッチができない人も、世の中の風潮を変えるんだ？オタクということばを禁止だ！パソコンに偏っているなんてことばは禁止だ！

こんなことだつてあるかもしれない、世界中のたぐさんの人たちがパソコンをネットワークでつなげてコロナ危機解決策を作成だ！

外国人とのコミュニケーション能力も必要！語学学習がんばろう！誰でもできる！意志さえあれば！

さあ、みんな、安東幹さんとともに、コロナウイルスと戦おう！

日本の進む道研究所 代表 安東 幹

東京・神奈川・埼玉・千葉の

日本共産党組織の委員長

(各日本共産党組織が、都県選挙管理委員会に提出した政治資金収支報告書より)

日付は、令和3年3月がほとんど)

名前以外の情報は、非公表の地区委員長も多い。名前や年齢が知られている地区委員長は、選挙に出馬したため、情報が公開された人がほとんどである。東京の練馬地区委員長と豊島地区委員長が同一人物であることに関しては、現在も兼ねているのかどうか、調査中である。年齢は、推定年齢であり、正確ではない場合もある。

(詳細な情報は、近日出版の、電子書籍『日本共産党組織の地区委員長はどんな人たち』を、ぜひ、お読みください。

☆東京都委員会

田辺良彦 56歳

☆足立地区委員会

柿崎幸俊

☆荒川地区委員会

鈴木賢一 59歳

1961年 東京都板橋区

1980年 都立文京高校

1985年 東京経済大学経済学科卒業

1985年 西尾久の機会メーカーに勤務 機械製造会社社員

1989年 民青同盟荒川地区委員長

1993年 日本共産党荒川地区委員会専従

2009年 日本共産党荒川地区委員長

家族 妻 1女1男 趣味 ツーリング(自動二輪)

☆板橋地区委員会

須藤武美(たけよし) 67歳

☆江戸川地区委員会

須田哲二 64歳

前江戸川区議会議員

☆大田地区委員会

山本純平 47

会社員 法大

☆北多摩中部地区委員会

小泉民未嗣(たみじ) 43

☆北多摩東部地区委員会

松井(いでしげ)美津子 1964年生まれ。67歳

清瀬第三小学校、武蔵村山第二中学校、武蔵村山東高等学校、武蔵野美術短期大学。

1984年4月、デザイン会社に就職。男性の補助的な仕事ばかりでボーナスは0万円。男性社員は徹夜や持ち帰り仕事当たり前でした。働きがいや展望のもてる職場をつくろうと、職場の仲間と労働組合づくりに奔走。その意気を見込まれ、党の勤務員となり、現在に至ります。(彼女のSNSなどより転載)

☆北多摩北部地区委員会

金野和則

☆江東地区委員会

新野正雄

☆品川地区委員会

前田和久

☆渋谷地区委員会

菅野茂

☆新宿地区委員会

中野顕

☆杉並地区委員会

酒井文男

☆世田谷地区委員会

尾中啓司

☆台東地区委員会

秋間洋 (ひろし) 区議会議員 1958年

63歳

上尾市出身 浦和高校 早稲田大学一文卒業

☆立川昭島地区委員会

松村亮佑 りょうすけ 41歳

☆調布狛江府中地区委員会

目黒重夫 72くらい

☆葛飾地区委員会

新井杉生 すぎお 62歳

北地区委員会

遠藤久

☆墨田地区委員会

伊藤大気

☆中央地区委員会

尾坪順

☆千代田地区委員会

中村尚美

☆中野地区委員会

亀井清

☆練馬地区委員会

岸良信

☆港地区委員会

千葉一成 67くらい 宮城県佐沼高卒

☆南多摩地区委員会

橋本由美子 70歳

1991年初当選 多摩原水協副理事長 多摩
住民自治研究所歯科衛生士

☆豊島地区委員会

岸良信 66くらい

民青中央委 都立大法卒 出身 前橋市

☆西多摩青梅地区委員会

数野一 73

☆八王子地区委員会

鈴木宏昌

☆文京地区委員会

長島正人

☆町田地区委員会

古橋良恭 60歳くらい 和光大

演劇鑑賞団体職員 赤旗町田出張所長

☆武蔵野三鷹地区委員会

平野義尚

1986年生まれ 35歳くらい 埼玉 大宮
高校 東京農工大学農学部卒

☆目黒地区委員会

宮本栄 60歳くらい 法制大卒

☆神奈川県委員会

田母神悟

出身は福島県です。郡山市にある県立安積高校を卒業後、東北大学に進学、ちょうど学園紛争の真っただ中で、この時に寮の自治権を守るたたかいのなかで日本共産党に出会い、2年の時に入党しました。

卒業後は川崎市にある日立造船神奈川工場に就職、約4年勤務したあと退職して、党川崎南部地区委員会の常任活動家になりました。川崎で約17年活動したあと、現在の神奈川県委員会に勤務し、いまにいたっています。

家族は妻と一男一女、子供はそれぞれ独立しています。川崎区の大師地域、自然豊かな多摩川のそばに居住しています。(彼のSNSより転載)

☆県央地区委員会

小林 久夫

☆川崎中部地区委員会

佐川潤

東部南地区委員会 越谷市 八潮市 三郷市

吉川市 草加市 北葛飾郡松伏町

東部北地区委員会 行田市 加須市 春日部市

羽生市 久喜市 蓮田市 幸手市 南埼玉郡宮

代町 白岡市 北葛飾郡杉戸町

西部地区委員会 川越市 東松山市 坂戸市

鶴ヶ島市 入間郡毛呂山町 入間郡越生町 比

企郡滑川町 比企郡嵐山町 比企郡小川町 比

企郡川島町 比企郡吉見町 比企郡鳩山町 比

企郡ときがわ町 秩父郡東秩父村

西部東地区委員会 富士見市 ふじみ野市 朝

霞市 志木市 和光市 新座市 入間郡三芳町

西南地区委員会 所沢市 飯能市 狭山市

入間市 日高市

南部地区委員会 川口市

藤・戸田地区委員会 藤市 戸田市

さいたま地区委員会 さいたま市

中部地区委員会 上尾市 鴻巣市 桶川市

北本市 北足立郡伊奈町

北部地区委員会 熊谷市 秩父市 本庄市

深谷市 秩父郡横瀬町 秩父郡皆野町 秩父郡

長瀨町 秩父郡小鹿野町 児玉郡美里町 児玉

郡神川町 児玉郡上里町 大里郡寄居町

☆川崎南部地区委員会

中野智裕 56歳

1982年東海大学文学部広報学科卒業。

現在党県委員、党川崎南部地区委員長。

☆川崎北部地区委員会

岡田政彦

☆湘南地区委員会

岡崎 裕 43歳くらい

2000年神奈川大学経済学部中退。2000年4月から(株)合同警備、神奈川県民主商工会事務局、建交労神奈川支部などに勤務。2010年、党神奈川県委員会勤務。現在、党県常任委員。2003年3月横浜市議(都筑区)、2010年7月参議院比例、2011年4月神奈川県議(鶴見区)、2014年12月衆議院比例南関東ブロックの各選挙に立候補。趣味は映画鑑賞、読書、サッカー観戦。家族は妻。横浜市神奈川区在住。

☆西相地区委員会

沼上常生 63歳くらい (ぬまかみつねお)

1978年3月科学技術学園高等学校(通信制)卒業。1974年、81年(株)荏原製作所藤沢工場勤務。1981年、党湘南地区委員会勤務。現在、党県委員、党湘南地区委員長。2000年、2005年衆議院神奈川12区、2011年神奈川県議選(藤沢市選挙区)に立候補。趣味はスノーボード。家族は妻、一男。茅ヶ崎市在住。

☆北部地区委員会

堀口 望 46歳くらい

1995年県立藤沢北高校卒業。1997年学童保育たんけんクラブに勤務、2005年神奈川県建設連合国民保険組合勤務。現在、党県委員、党川崎北部地区副委員長。2012年、2014年衆院神奈川9区に立候補。趣味は読書、音楽鑑賞、楽器演奏、ドライブ。家族は妻、一女。大和市在住。

☆三浦半島地区委員会

林伸明

☆横浜西南地区委員会

横山 征吾

1992年東京工業専門学校卒業。1992年、96年(株)トヤマ勤務。1998年、党横浜西南地区委員会勤務。現在、党県委員、党横浜西南地区副委員長。2012年、2014年衆院神奈川5区に立候補。趣味は読書、ドライブ、サイクリング、スキー、キャンプ。横浜市戸塚区在住。

☆横浜中央地区委員会

明石行夫 62歳くらい

1985年東京都立大学理学部物理学卒業。1985年4月、86年3月塾講師。1986年4月、87年3月日大鶴ヶ丘高校非常勤講師。1987年3月、2003年12月グリーンブル株式会社勤務。2004年、5年(有)ハマデジタル勤務。2005年、自営。2010年、横浜南部民主商工会副会長。2013年、金沢区革新代表世話人。2015年5月から党横浜中央地区委員会勤務。2012年、2014年衆院神奈川1区に立候補。現在、党准県委員、党横浜中央地区副委員長。趣味はバンド演奏。横浜市金沢区在住。

横浜北東地区委員会

釘丸進 48歳くらい

1997年東海大学政治経済学部経済学科卒業。

1997年～2008年新日本空調株式会社勤務。2008年～日本共産党横浜北東地区委員

会勤務。現在、党県委員。党横浜北東地区委員長。

2012年衆議院神奈川8区に立候補。趣味は読書。横浜市鶴見区在住。

☆埼玉県委員会

荻原初男

☆西南地区委員会

神田三春

☆西部地区委員会

長沼チネ

☆西部・東地区委員会

山本 浩

☆さいたま地区

齊藤 功

☆埼玉中部

山本眞理

☆埼玉東部北

赤岸雅治 60歳くらい

山口県岩国市出身、立命館大学卒業、学生支部支部長、民青埼玉朝霞地区委員長など

2007年から地区委員長

☆埼玉東部南

苗村京子 62歳くらい

元三郷市議、東京都麹町学園女子高

☆埼玉南部

須田幾世志 61歳くらい 川口市長選挙出馬

の2009年当時から地区委員長

中部地区委員会 千葉市 市原市

西部地区委員会 船橋市 習志野市 八千代市

市川・浦安地区委員会 市川市 浦安市

松戸・鎌ヶ谷地区委員会 松戸市 鎌ヶ谷市

東葛地区委員会 野田市 柏市 流山市 我孫子市

印旛地区委員会 佐倉市 四街道市 八街市

印西市 白井市 富里市 印旛郡栄町 印旛郡酒々井町

北部地区委員会 成田市 銚子市 香取市

匝瑳市 旭市 香取郡神崎町 香取郡多古町 香取郡東庄町

東部地区委員会 茂原市 東金市 勝浦市

いすみ市 山武市 大網白里市 山武郡九十九里町 山武郡横芝光町 山武郡芝山町 長生郡

一宮町 長生郡睦沢町 長生郡白子町 長生郡長柄町 長生郡長南町 長生郡長生村 夷隅郡

大多喜町 夷隅郡御宿町

南部地区委員会 館山市 木更津市 鴨川市 君津市 富津市 袖ヶ浦市 南房総市 安房郡

鋸南町

☆埼玉北部

小豆島 啓

☆蕨戸田

阿久津 俊男

☆千葉県

小倉 忠平 59歳くらい

2020年2月17日より地区委員長。14年務めた浮揚幸裕氏が健康上などの理由で退任。

☆市川浦安地区

桜井雅人 46歳くらい 大谷大学中退

市議3期、県議落選 その後、地区委員長か？
1998年より市川浦安勤務員

☆印旛地区

鴨志田安代 66歳くらい (かもしたやすひろ)

2014年時、すでに、地区委員長

☆西部

椎葉寿幸 46歳くらい

2020年2月地区委員長就任

☆中部

黒須康代 60歳くらい

駒澤大学卒業、民青千葉専従、千葉市長選挙出馬

☆東葛地区

高橋敏(さとし) 64歳くらい

工学院大学卒業 赤旗出張所長 建設会社員

☆東部

椎名史明 (しいなふみあき) 64

民青同盟役員 千葉大教育学部

☆南部

葛原茂 (くずはら) 70

製鉄会社社員 青森県弘前工業高校 青森県田

舎館村出身(弘前市の隣、田んぼアートで有名)
川崎製鉄、千葉製鉄所、ブリキ製造ライン43年

間

☆北部

笠原正実 67歳くらい 民青地区委員長 中学

卒 銚子市

☆松戸・鎌ヶ谷地区

横堀涉 写真を見ると白髪の年配者

日本共産党中央機関紙「赤旗日刊紙」は、だれが配達しているのでしょうか？

日本共産党は、機関紙「赤旗」を、毎朝配達しています。機関紙とある通り、日本共産党幹部の論文や、日本共産党活動家向けのページがあり、日本共産党や関係が深い団体の動きを伝える記事が大きく取り扱われています。日本共産党は、株生活者を、働かないで労働者が生み出した価値を搾取して暮らしている人たちと批判しているので株価値はありません。

赤旗日刊紙は誰が配達しているのでしょうか？日本共産党の方針では、党職員、議員、党活動家は、配達をしないことになっているからです。なぜならば、赤旗の配達は、毎朝、月曜から土曜まで、4時や5時から始めて、必ず7時までに終わらせなければならぬ重労働です。党職員や議員が日刊紙の配達をする時、日中の、大切な党活動に差し支えるので、党職員や議員は日刊紙の配達をしてはいけないという方針となっています。ちなみに、

日曜日の配達は、党支部で配達員を手配することになっていま

す。特に、日本共産党の協力者の配達員を、休みの日なしで配達させるのは、絶対に禁止されています。しかし、議員や党職員の場合は、休刊日以外、毎日配達活動をする可能性もあります。

配達員は、チラシにあるように、一般からも募集しますが、反共産党の人はお断りします。日本共産党に協力的な人か、あるいは、ただ単にお金が欲しい政治に興味がない人です。

赤旗購読代金には、配達者向けの料金が、最初から、含まれています。一部で◎◎円という感じですが、それだけでは、一般から配達員を募集するわけにはいきません。そこで、地域の支部がお金を出したり、地区委員会の担当部署がお金を出し

たりして、そこそこの収入となるアルバイトとするわけです。

配達員が集まらないと、地域支部で配達することになります。「集団配達」というものです。地域の活動家が、曜日ごとに、何人かで手分けして配達するとい

うものです。あるいは、支部長が一人で配達している場合もあります。しかし、支部に活動家が少ないなど、集団配達体制が取れず、支部で配達できない場合は、党職員が配達します。しかし、党職員は、7時までの配達後、午後の出勤まで仮眠時間

となるため、本来の党活動・任務ができず、好ましくないこととなっております。議員の配達は、最終手段です。しかし、党本部は、議員配達のゼロをめざして、何が何でも議員に配達させないということになっています。

それでも、配達できないと、

郵送ということになります。一日か何日か遅れて、赤旗が家のポストに郵便で届くことになります。

赤旗の配達以外に、党本部や印刷所から、早朝、大型トラックで運ばれてきた、赤旗の束を、地域の配達拠点（赤旗配達員が取りに行く場所）に、降ろしていく仕事もあります。2時ごろ、3時ごろから、地域全域を、時には、複数台のワゴン（雨の時など、屋根がないトラックだとぬれるので困る）で配布する重要な仕事もあります。それなりのお金がもらえますが、前夜から党事務所に泊まり込みなど、まじめな人がする必要があります。

党職員、議員が赤旗配達の仕事をして、その分のお金はもらえません。活動家の中には、日本共産党大好きで、お金をもらわない人もいます。

「しんぶん赤旗」日刊紙の
配達員、急募!

ちょっとした収入に

- ★配達地域は区内各所(お問い合わせください)
- ★一週間のうち、1~2日でも可。5~6日できればもっと助かります。
- ★バイト代の目安は、たとえば週6日(26日/月)、50件配達して27000円。
- ★朝7時までには配達完了です。



規則正しい生活、
健康づくりのお手伝いに

詳しいことなどお問合せは、お電話でどうぞ
「しんぶん赤旗」杉並出張所
電話 03(3314)5551

日本は、国際空港（成田 空港、羽田空港国際線 ターミナルなど）・航空 国際線の維持に力を入れ るべき

日本の進む道研究所の代表の安東幹さんは、日本から海外へ移動する時に、絶対に必要である国際空港・航空国際線の維持のために、日本が総力を挙げて力を入れるべきであることを訴えます。日本は島国なので、鉄道や車両により他国へ移動することができません。また、貿易で日本が栄えるためにも、国際空港・国際輸送飛行機は、なくてはならないものです。日本は、国際空港の維持に向けて直ちに動くべきと考えます。

コロナ危機が長引いて、航空業界、国際空港などがたいへんなことになっている。海外への渡航禁止、旅行者の激減、空港利

用者の激減などで、飛行機利用者が激減、

海外便は欠航が続出し、空港は閑散としている。空港のレストラン、ショップは閉店が相次いでいる。経験豊かな飛行機乗務員、客室乗務員、整備士その他のスタッフが出向、転職、退職を余儀なくされている。このままでは、コロナ危機が克服された時に、航空業界、国際空港などが、直ちに以前のように戻れるかどうかかわからない。経験豊かな航空業界の社員が、復職などしてそろそろかどうかわからない。大問題である。

日本は、総力を挙げて、国際空港・航空国際線の維持に取り組むべきである。思い切った資金の投入をするべきである。経験豊かなスタッフを引き留めるために、財政援助をするべきである。

国際空港・航空国際線は、国家が繫栄するために重要なものである。日本は、国際空港・航空国際線の維持のために、取り組むべきである。

編集後記 その1

日本の進む道研究所は、長期的な計画を立てて、国際的なシンクタンクを目指し、着実に前進を続けております。遠くない将来、日本を代表するシンクタンクの一つに、必ずや、なつてみせます。これまで応援していただいた方、本当に、感謝しております。今後も、応援の輪を広げていただければと思います。

日本の進む道研究所は、国際協調をめざしております。英語による海外発信、外国や国際機関とのコミュニケーションを目指します。人類的な視野に立った活動をしていきます。

安東幹さんは、科学的な健康維持をこころがけております。現在、バレーボールをしております。バレーボールは、右手も左手も右足も左足も使うスポーツなので、運動には良いです。右手右足左手左足同じように自由に使える、理想の身体ができます。左手でも投手ができるように、左足でも鋭いシュートができるように、がんばります。

日本共産党に配達証明付き内容証明郵便を送付しました。

日本共産党中央委員会様 要望・抗議です。
手紙の内容は、さまざまな方法で公開します。

安東幹と申します。貴団体に配達証明付内容証明郵便、「令和3年5月12日63013」「令和3年6月〰日63240」「令和3年7月29日63845」「令和3年8月16日64045」「令和3年8月27日1249016240」「令和3年10月11日12491083743」「令和3年10月24日12491438864」を送付した人物と同一人物です。

安東幹さんは、平成元年に、日本共産党中央委員会の指示で、強制的に代々木病院の精神科に連行されました。数年後から、一貫して、日本共産党による精神医療を悪用した人権弾圧であると主張し、世界中のさまざまな団体に告発を続けております。それに対して、日本共産党幹部をはじめとして全国の日本共産党員が、不倫や盗撮など

の女性に対する犯罪行為、反社会的行為を安東氏は犯したとか、原理や極左団体の過去があるなどと言っていますが、そのような事実はまったくありませんし、安東氏は認めたこともありません。警察に通報せざるを得ません。

安東氏は、11月20日から東京の明治神宮野球場で開催される、全国の高校・大学野球部が競う大会を観戦予定です。また、日本全国で開催される<リーグ(女子)>を、観戦予定です。これまで、日本共産党関係者が会場内で、安東氏を追い出せと騒ぐことが繰り返しされました。野球の観戦に来るわけでもなし、入場チケットを買うわけでもなく、退場を命じられたこともありました。今後、そのようなことのないようお願いいたします。何度も来るのは、慶應義塾労働組合関係者、JAL労働争議団関係者です。野球のルールがわからなく、興味がなく、安東氏の悪口ばかり大声で言うのであれば、来るべきではありません。労組の小笠原恵さんは、安東が青年に悪い影響を与えるから退場と騒ぎますが、日本共産党を

事実にして批判する自由はあります。JAL労働争議団内田団長は、安東は夏にコートを買うなど正常ではないと言っていました。安東氏はエキストラをしているので、季節と関係がない衣装を買うのは当然です。慶應義塾労働組合の小笠原恵さんや金井望さんは、安東氏が立ち入り禁止区域に入ったとか、主張しているようですが、そのような事実はまったくありません。事実無根のデマ宣伝をしないようご指導ください。

安東氏が10月29日に福井・京都・大阪に行った時、日本共産党女性活動家がJR列車の中で安東氏を取り調べさせようとして駅員に迷惑をかけました。京都では、日本共産党活動家が府庁舎のカフェで食事をしている安東氏を大声で批判していました。安東氏の子どもが通う学校の、日本共産党系の女性教員の名前を勝手に使うという悪質さです。安東氏も、世界に、日本共産党の悪質さを告発せざるを得ません。

東京杉並区と神奈川県相模原市などにキャンプがある女子美術大学の教職員組合、

東京杉並区に本部がある堀之内学園の教職員組合は、安東氏が来た時、数人で「来るな」とシュプレヒコールをあげたり、安東氏の事実無根の悪口を言ったりしておりま

す。東京杉並区高円寺南商店街近くによく現れる若い女性（野垣杉並区議の友人）は、安東氏が娘を性的に虐待しているなどと言

い多大な迷惑をかけています。野垣区議自身、安東氏を、盗撮で何度も警察に書類送

せたと聞いていますが、警察は忙しく、迷惑するのでやめさせてください。

安東氏は、医学上の精神病にかかったことは一度もありません。代々木病院以外で精神病の薬を処方されたことはありません。そのことは、今、医学検査を受ければ証明

できます。安東氏は極左の活動歴はまったくありません。自治会やサークル連盟の幹部をしたことはまったくありません。中央

いと注意してもやめません。安東氏が近くのクリニックに行くと、そのまま精神病院

に連れて行けとクリニックに押しつけて騒ぐなど、悪質です。刑事告発を考えています。日本全国でヘイトスピーチイベントが開催されていた日に、安東氏がまったく離れた別の場所にいたとすべて証明されたら、彼女は逮捕ですね。

安東氏は、暴力行為を行ったことはありません。正当防衛などは除きます。杉並区役所で、安東幹氏がかかわる暴力事件が起きました。安東氏を十人以上の若い男性が暴力的に取り囲み手を出してきました。その件については、日本共産党員と酒井まさえ区議が言っていた、針灸氏の年配の男性党員がその場にいました。安東氏の主張の正しさは、彼に確認してください。

備会社に安東を雇えとか、日本オラクルに安編集後記 その2

東を雇えとか電話するのはやめるよう厳重に

指導ください。安東氏は、日本の進む道研究所 日本が進む道研究所は、国際的な発信を所設立後、警備会社で働こうと考えたことは続けています。在日外国大使館、世界中の一回もありません。明治乳業労働争議団にメディアの日本出張所、国連機関の日本出つも参加している女性活動家は、「副隊長に張所、国際NGOの日本出張所、外国の主なれてよかったね」などと話しかけてきたこ要政党の日本事務所などに、ファックスでともありますが、意味不明でわからない。警発信を続けています。安東幹さんは、英語察に電話するのをやめるよう厳重に指導くだで文章を書くのは得意です。当然、日本共さい。安東氏は、犯罪行為を犯したことがな産党の私に対する精神医療を悪用した人権いのに、警察は電話がかかってくると迷惑し弾圧と、私の信用をなくすためのでっちあます。杉並地区委員会の、酒井文男地区委員 げについても報告しています。

長、長谷川氏（元杉並幹部）、藤原淳一さんが、 それに対して、日本共産党の国際部が、杉並警察に安東氏を取り調べよと詰め寄って 対応に追われているという話もあります。いるのを見ましたが、警察にとっても、国民 安東幹さんは、世界精神医学会、アメリカにとっても迷惑です。 精神医学会、アムネスティインターナシヨ

酒井まさえ杉並区議は、「裁判に訴える」をナルなどの国際NGO、国連人権委員会、精あちこちで連発しているようですが、単に区 神医療を悪用した人権弾圧をなくすための議で訴える権限はないのですから、やめるよ 世界的な組織などに、日本共産党による私う厳重に指導ください。彼女や、松ノ木生協 への人権弾圧を訴え続けてきました。日本診療所の年配の男性は、警察がどうしたこう 共産党国際部も、問い合わせに対応せざるした言いますが、警察は、日本共産党批判は を得なくなりつつあるということでしょう。民事なので、関係ないでしょう。

これも、支援者みなさまのおかげです。ありがとうございます。

やまと新聞を読もう！

安東幹さんが毎号執筆

日本共産党の恐ろしさについて執筆しています！

やまと新聞は、現在、電子版を発行（紙媒体は発行していない）

前身1932年（昭和7年）8月創刊の『帝都日日新聞』

国会両院記者会の幹事社

土屋隆之先生編集長

元東京都議会議員、元拓殖大学日本文化研究所客員教授。

著作に、『ストップ偏向平和祈念館』、『こんな偏向教師を許せるか！』など。

日本共産党中央委員会追及大作戦展開中！

『安東幹問題について・日本共産党に強制収容所』

大量配布中 希望者には電子版を無料で送付します

日本の進む道研究所ウェブサイトにでもあります

日本共産党のでっちあげを許すな！

日本共産党は非合法化されなければならない

国家・家族・企業を共産主義から守ろう！

共産主義は、IT・語学の敵

コロナ治療薬とワクチン開発を

妨害、今すぐ非合法化

元祖ヘイトスピーチ

マルクス エンゲルス

日本共産党に強制収容所



日本の進む道研究所
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-2-14
有山ビル 501 日本の進む道研究所
TEL 03-6775-8400 FAX 03-4586-9638
代表 安東 幹 (あんど う かん)
info@japanfutureresearch.org
<https://www.japanfutureresearch.org>
郵便振替口座 00160-6-487455
口座名義 日本の進む道研究所

日本の進む道研究所では、
会員、賛助会員、会報購読者を募集しています。

郵便振替
00160-6-487455
日本の進む道研究所
年間賛助会費 3000 円
年間購読費 2500 円
会員 月 5000 円より